

📷 2018.11.3 おまつり村 復興花火

がんばろう南予！がんばろう大洲！

2018.11.03

大洲青年会議所主催のおまつり村にて、復興花火を打ち上げました

平成の始まりの年、大喜水質管理センターはまだ新谷・松ヶ花橋の下にありました。

もう30年前のお話です。その前の事務所は五郎駅前にあったのですが、その時代を知っているお客様はもう40年のお付き合い。長いような、あっという間のような年月にお付き合いいただき、誠にありがとうございます。あの頃と比べると、まちの風景も肱川の景色もすっかり変わってしまいました。道路が広がり、まちが広がり、大きなお店がたくさんできて、とても便利になったように思います。浄化槽も単独浄化槽から合併浄化槽に性能はぐんと良くなりました。

下水道の区域もどんどん広がり、人間にも自然にも優しくなったはず……。

平成30年は水害の印象がとても強い年でした。いつもは水量が本当に少なくなってしまう肱川があんなことに。対策の工事はどんどん進みますが、一方で自然の川岸がなくなっていくのも事実。

変わっていくことは止められない。自分達ではどうしようもない大きな流れがあります。

昭和、平成、その次と。さて、次はどんな年号でどんな時代になるのでしょうかね。

楽しみに迎えることが出来るようにしていきたいと思います。

“みずから環境と生活を考える”。

私たちは、水の恩恵を受けて生かされる反面、時には水が足りなくて困り、水で被害を受けることもある。いつも寄り添って生きなくてはなりません。

時代が変わっても変わらない事、時代の変化に合わせて変わって

いかなければならない事、そしてその先をソウゾウする事。

その時代、場面において、お役に立てる会社であり続けられるよう、

今年も頑張っていきたいと思います。

2019年
良い一年でありますように。



2019.01.11 大洲復興冬花火大会

約5,000発の花火を打ち上げます。大洲市で冬に花火が打ちあがるのは初めての事のように。

間違いなく寒いとは思いますが、大洲市の復興を願い、きれいに上がってくれることを祈っています。



携帯トイレのトレーニングをしませんか？ トイレ減災トレーナーの活動

地震が起こったら机の下に隠れる。ガスの元栓を閉める。窓を開けておく。こういったとっさの行動が身につけているのは、何度も何度も体験してトレーニングされているから出来る事。

では、**災害で普段のトイレが使えなくなった時…。あなたはどうしますか？**

「大丈夫！
防災グッズに携帯トイレが入っているはず！」

…でも、その携帯トイレ。
とっさの時にちゃんと使う事が出来ますか？
被災して混乱している状況下、トイレに行きたくなる瞬間まで、トイレの事を心配する人などいないのではないのでしょうか。おなかが痛くなって思い出して、携帯トイレを探して、トイレに並んで、説明書を読んで・・・



“災害時でも安心してトイレを使えるように”

防災グッズをいくら備えても、使えなければ意味をなさない。

知識のない人たちが使えないトイレを無理やり使おうとしてしまう事で、結果的に処置が出来ないほどの状況になってしまう事例が過去の災害でもたくさん報告されています。

災害が起こってしまう事は防げませんが、少しでも負担を減らすことはできます。

トイレで困る人が一人でも減るように、トイレの減災トレーニングをしてみてくださいませんか？

会社、地域の集まり、学校でも、規模や状況に応じてご相談承ります。

残念。
間に合いません。



事実、携帯トイレの
トレーニングを受けて頂いたほとんどの人が、
携帯トイレを使ったことがなく、「使い方を知らなかった」「トレーニングを受けてよかった」と回答されています。



上：大洲市 PTA 連合会研究大会 / 下：愛媛県 YEG 未来委員会事業



最近のトレーニング（講演）

2018.10.13 大洲市 P T A 連合会研究大会

2018.10.30 愛媛県 Y E G 未来委員会事業

